

農薬概説(2017) 昨年度版からの主な改訂点

農薬概説は毎年最新の情報となるよう修正を加えております。年度ごとの数字等の変化に加え、今回の主な修正点は以下の通りです。

第1章 作物保護と農薬

4. 作物保護における農薬の位置づけ 8頁

表 1-8 作物における除草経費と労力(2005 から)

を削除し、水稻と大豆について「除草剤利用による経済効果」の図を加えた。

第2章 植物防疫行政

2. 植物防疫行政の組織体制 16頁

農薬対策室から安全管理専門職が6つの農政局及び北海道農政事務所に配置されたことを追記。

4. 防除事業 (2)緊急防除 25頁

ジャガイモシロシストセンチュウの対応について追記。

6. 植物検疫 (2)輸出検疫 30頁

手続き及び技術指導体制の変更を追記。

第3章 農薬行政

1. 農薬の歴史 (6)平成年代 34頁

ジアミド剤・SDHI剤を追記。

3. 農薬の登録 (2)登録の手続きと検査の仕組み 3)毒性 39頁

以降要求される試験の変更と追加。

第5章 農薬の一般知識

4. 農薬の開発 (2)新農薬開発のプロセス 1)スクリーニング 107頁

新農薬開発の成功確率の見直し。

(3)開発の現況 109頁

開発経費の見直し。

特許の先行優先権の保護期間の変更。

5. 農薬の生産と流通 (2)農薬の流通 113頁

図 5-7 農薬流通機構図 の変更。

第6章 施用技術

2. 施用(散布)方法 (3)空中散布 121頁

2)「無人ヘリコプター防除」を「無人航空機防除」とし、マルチローターの項目を追記。

第8章 農薬の安全・適正使用

2 安全使用の基本事項 (2)農薬使用計画書の提出 142 頁
計画書提出の手続きについての変更。

4 使用上の諸注意 (1)使用者の健康への配慮 1)農薬による中毒事故 156 頁
強アルカリ性農薬と酸性肥料の混合による事故を追記。

(4)生産物や周辺環境への配慮 2)家畜・蚕・ミツバチなどに対する配慮 162 頁

ミツバチの被害防止対策について追記・ウェブサイトの変更。

第9章 病害虫・雑草とその防除

3 雑草 (1)雑草の種類と性質 1)雑草の実用的分類 218 頁
「農薬ラベルでの分類」を表とともに追記。

(2)雑草の発生生態 4)雑草害と除草必要期間 除草必要期間 226 頁
除草必要期間の変更

(3)雑草の防除方法 2)除草剤の剤型 228 頁
豆つぶ剤について追記。

4)除草剤の効果・薬害の変動と使用の注意 230 頁
表現の見直し。

資料

2 農薬取締法施行令 247 頁
登録申請手数料の変更。

11 ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る指導指針 260 頁
暫定指導指針であったものを指導指針に変更。内容も変更。

12 住宅地等における農薬使用について 262 頁
新たに掲載。

32 農薬の作用機構分類 326 頁
IRAC・FRAC・HRAC とともに最新版に更新。